



長崎県
諫早市

42-204-A001



32°50'32.9"N
130°03'19.0"E



169-10-2-1

デザインの由来



設置開始 1989年



諫早眼鏡橋



諫早菖蒲 諫早万灯川まつり

日本で最初に重要文化財に指定された石橋といえは、諫早公園の「諫早眼鏡橋」です。本デザインは、同橋と傍らに咲く「諫早菖蒲」を描いたもの。眼鏡橋は江戸時代、氾濫を繰り返す本明川に「永久不壊」の願いを込めて架けられました。昭和32年の大水害で一部を破壊した眼鏡橋は、その後取壊しが検討されましたが、その芸術的・土木工学的価値が認められ、今の場所に移築され、秀麗な姿で人びとの目を楽しませています。毎年7月25日は水害被害者を慰霊する「諫早万灯川まつり」が催され、本明川には約2万3千本の万灯と花火、光の眼鏡橋が出現し、幻想的な世界を作り出します。

1704-00-001

諫早市物産ホール

©GKPマエプロ

